**外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項の遵守のための**

**特定類型該当性に関する申告書**

学校法人　明治大学　 御中

年 　　月　　 日

氏名（自署）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

明治大学が以下の①又は②に該当する居住者に対して技術の提供を行う場合、外国為替及び外国貿易法第２５条第１項及び第２項に基づき経済産業大臣の許可が必要になる可能性があることを理解し、明治大学の法令遵守のため、下記のとおり申告します。

記

私は、

□ 以下の①に該当します。

□ 以下の②に該当します。

□ 以下の①及び②に該当します。

□ 以下のいずれにも該当しません。状況に変化が生じた場合はすみやかに申し出ます。

（いずれかの□にチェックを入れてください）

1. 外国政府又は外国法人等※と雇用等の契約を結んでいる（詳細裏面参照）
2. 外国政府又は外国法人等※から、年間所得の25％以上の経済的利益（奨学金等）を受けている、または得ることを約している

※「外資系企業」は、申告者の当該日本法人に対する善管注意義務が、その親会社である外国法人に対する善管注意義務よりも優先される場合、該当しません。

【表面①、②の詳細】

「外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び外国為替令第17条第2項の規定に基づき許可を要する技術を提供する取引又は行為について」（平成４年１２月２１日付け４貿局第４９２号）の１(3)サより

① 外国法令に基づいて設立された法人その他の団体（以下「外国法人等」という。）又は外国の政府、外国の政府機関、外国の地方公共団体、外国の中央銀行並びに外国の政党その他の政治団体（以下「外国政府等」という。）との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該外国法人等若しくは当該外国政府等の指揮命令に服する又は当該外国法人等若しくは当該外国政府等に対して善管注意義務を負う者（次に掲げる場合を除く。）

1. 当該者が本邦法人との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該本邦法人の指揮命令に服する又は当該本邦法人に対して善管注意義務を負う場合において、当該本邦法人又は当該者が、当該外国法人等又は当該外国政府等との間で、当該本邦法人による当該者に対する指揮命令又は当該本邦法人に対して当該者が負う善管注意義務が、当該外国法人等若しくは当該外国政府等による当該者に対する指揮命令又は当該外国法人等若しくは当該外国政府等に対して当該者が負う善管注意義務よりも優先すると合意している場合
2. 当該者が本邦法人との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該本邦法人の指揮命令に服する又は当該本邦法人に対して善管注意義務を負う場合において、グループ外国法人等（当該本邦法人の議決権の50%以上を直接若しくは間接に保有する外国法人等又は当該本邦法人により議決権の50%以上を直接若しくは間接に保有される外国法人等をいう。以下同じ。）との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該グループ外国法人等の指揮命令に服する又は当該グループ外国法人等に対して善管注意義務を負う場合

② 外国政府等から多額の金銭その他の重大な利益（金銭換算する場合に当該者の年間所得のうち25％以上を占める金銭その他の利益をいう。）を得ている者又は得ることを約している者